

新潟市 総合計画 2030

概

田園の恵みを感じながら
心豊かに暮らせる
日本海拠点都市



1

「新潟市総合計画2030（ニーゼロサンゼロ）」とは

新潟市における最上位計画

新潟市のまちづくりの考え方や目指す都市像を示した計画
計画期間：令和5（2023）年度から令和12（2030）年度までの8年間



2

計画のポイント



総合計画とSDGs（持続可能な開発目標）を一体的に推進！

将来世代まで心豊かに暮らし続けられる新潟市を築くため、総合計画とSDGsを一体的に推進し、目指す都市像を実現するとともに、SDGsの達成に貢献します

成果指標を設定して 政策・施策の進捗状況を「見える化」！

成果指標を設定し、目指す都市像の実現に向けた政策・施策の進捗管理を行います



将来想定される変化・課題を見据えて 現時点から取り組むべき政策・施策を整理！

人口減少・少子高齢化の進行に的確に対応するため、計画期間よりさらに一歩先の将来（2040年頃）にかけて想定される変化・課題を見据えて、現時点から取り組むべき政策・施策の方向性を示します

3

市民意見の反映

市民意見を総合計画に反映！

アンケートやワークショップなど様々な形で市民の意見を聞き取り、総合計画に反映しました

アンケート

- ・市民向けアンケート
- ・団体向けアンケート
- ・LINE・インターネットアンケート
- ・市外在住者アンケート

ワークショップ



みんなで新潟市のミライをかたるワークショップ



ハバママのまちづくりワークショップ



学生が描き、創る未来の新潟市ワークショップ



区自治協議会ワークショップ

市議会総合計画特別委員会



総合計画審議会



パブリックコメントほか



- ・パブリックコメント
- ・市内中学・高校生政策提案
- ・新潟市の未来を語るシンポジウム

4

まちづくりの理念

新潟市のまちづくりの考え方

みんなで新潟市の強みを活かし、人口減少時代に躍進する、
『活力あふれるまちづくり』、『持続可能なまちづくり』を進めます

5

目指す都市像

新潟市が目指すまちの姿

田園の恵みを感じながら
心豊かに暮らせる
日本海拠点都市

「経済」「社会」「環境」の豊かさを調和し高めることで、都市像を実現するとともにSDGsの達成に貢献

POINT!!
ポイントは
市民や民間事業者など
多様な主体との
パートナーシップ



目指す都市像の具体的なイメージ

豊かな経済

全国・世界とつながる日本海拠点都市として人・モノ・情報が行き交い、地域経済に活力があふれるまち



豊かな社会

家庭や地域、多くの人々に見守られながら、子どもたちが笑顔いっぱい
に成長するまち



豊かな環境

田園・里山や日本海・大河・潟といった多彩で豊かな自然を身近に感じ、四季を満喫できるまち



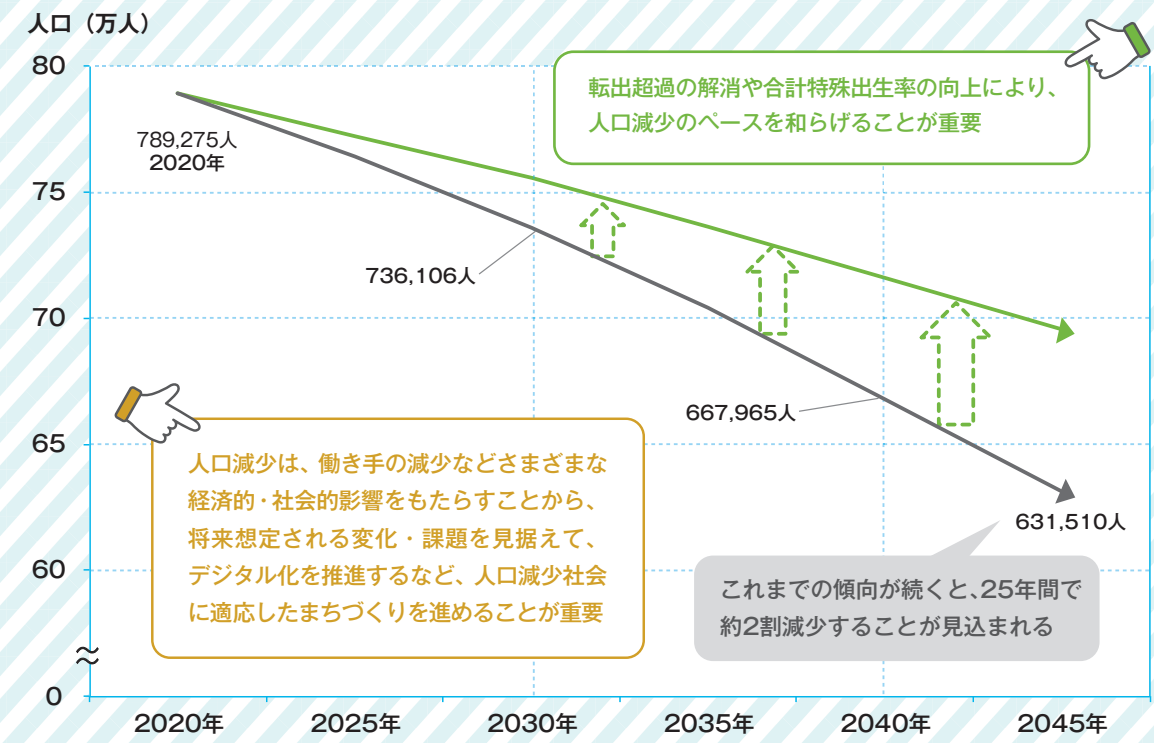
← 目指す都市像の実現に向けて取り組む「重点戦略」はこちら！

それぞれイメージの一例です

6 将来想定される変化・課題

新潟市の人口の将来推計

全国の傾向と同様に、新潟市においても人口減少・少子高齢化が進んでいます。将来にかけて、働き手の減少や地域経済の縮小などさまざまな課題が生じることが想定されます。



転出超過の解消や合計特殊出生率の向上により、人口減少のペースを和らげることが重要

人口減少は、働き手の減少などさまざまな経済的・社会的影響をもたらすことから、将来想定される変化・課題を見据えて、デジタル化を推進するなど、人口減少社会に適応したまちづくりを進めることが重要

これまでの傾向が続くと、25年間で約2割減少することが見込まれる

人口減少対策

- 人口減少を和らげる: 転出超過の解消や出生率の向上により、人口の減少ペースを和らげ、将来推計のカーブを上向きに押し上げる
- 人口減少社会に適応する: 人口減少・少子高齢化の進行がもたらす、さまざまな経済的・社会的影響を踏まえて、人口減少社会に適応するまちづくりを進める

8 政策・施策の全体像と「10の重点戦略」

目指す都市像の実現

田園の恵みを感じながら心豊かに暮らせる日本海拠点都市

SDGsの達成に貢献



4つの総合指標（総合計画における最上位の成果指標）

指標	現状値	最終目標
① 社会動態（転入と転出の差引）	714人転出超過	転出超過の解消
② 合計特殊出生率	1.33	1.38
③ 新潟市に住みたい市民の割合	88.2%	90%
④ 将来世代のことも大切に持続可能なまちづくりが進んでいると思う市民の割合	21.8%	50%

10の重点戦略

総力をあげて展開する

新潟市が分野横断的に重点推進する政策パッケージ

重点戦略



- 市民活躍
- 文化・スポーツ
- 子育て・教育
- 健康・福祉
- 産業・交流
- 安心・安全
- まちづくり・インフラ
- 環境

【8つの分野の政策・施策】

【区ビジョン基本方針】

区の色を前面に押し出し個性あふれる区づくりを推進



【持続可能な行財政運営】

行財政改革を推進し政策・施策を展開するための土台を強化

行政運営

- 限られた経営資源の効果的配分
- デジタル技術の活用による行政サービスの利便性向上

財政運営

- 財政基盤の強化と市債残高の削減
- 公共施設の再編・長寿命化

多様な主体との連携

- 市民や民間事業者との連携
- 国・県・市町村との連携

7 新潟市の強み

- 都市と田園の調和によりもたらされる暮らしやすさ
- 国内外と結ばれた高い拠点性
- 全国トップクラスの農業力
- 世界に誇る豊かな食
- 充実した地域の力
- 個性豊かな地域に根ざした歴史・文化・スポーツ
- 新しい時代を支える優れた人材輩出力



新潟市の強みを活かして施策を展開

市民や多様な主体とのパートナーシップで目標を達成する

双方の観点から政策・施策を展開

戦略7

子どもと子育てにやさしいまちづくりと新潟の将来を担う人材の育成

【政策指標】夫婦が実際にもつ予定の子ども的人数
地域や社会をよくするために何をすべきかを考えること
があると回答した児童生徒の割合

- 妊娠・出産・子育て期の包括的な支援
- 社会全体で子育てを応援する機運の醸成
- 自己実現していく力の育成
- 豊かな心と健やかな身体の育成



戦略8

仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現

【政策指標】勤め先が働きやすい職場であると思う市民の割合
年次有給休暇取得率

- 働き方改革など職場環境の整備
- 多様な就労の機会創出
- 女性の参画拡大と男女とも仕事と家庭生活が両立できる環境整備



戦略9

脱炭素・循環型社会の実現

【政策指標】市域から排出される温室効果ガスの削減量
1人1日当たりごみ総排出量

- 脱炭素社会の実現に向けたライフスタイル転換の推進
- 省エネ・再エネの推進
- 3Rの推進によるごみの減量



戦略10

安心・安全で災害に強いまちづくり

【政策指標】日頃から災害に対する備えをしている市民の割合
道路（橋を含む）が適切に整備・管理されていると思う市民の割合

- 地域防災力・減災力の向上
- 道路施設の持続可能な維持管理体制の構築
- 雨に強いまちづくりと耐震化・耐水化の推進
- 放射・環状型の道路ネットワークの強化



戦略3

豊富な田園資源を活かした儲かる農業の実現

【政策指標】農業産出額推計値
新潟市の農水産物などに対して誇りや愛着を持つ市民の割合

- 新たな需要に応える農産物の生産体制強化
- スマート農業技術の導入促進
- 所得拡大に向けた販売力の強化
- 意欲ある担い手等の確保・育成



戦略4

魅力と拠点性を活かした交流人口の拡大

【政策指標】延べ宿泊者数
観光入込客数

- 持続可能な観光の推進とおもてなし態勢の強化
- 特色ある文化芸術で地域振興
- スポーツを通じた交流の推進
- 新潟の個性・魅力と拠点性を活かした誘客の促進



戦略5

新潟暮らしの魅力発信と多様な支援による移住・定住の促進

【政策指標】職業を理由とした県外との転出入数
大学等新規卒業者の県内就職率

- 新潟暮らしの魅力発信
- 市内への就労促進
- 移住定住（UIJターン）の促進
- 関係人口の創出



戦略6

誰もが個性と能力を發揮しながら、心豊かに暮らせる社会の実現

【政策指標】地域活動に参加した経験のある市民の割合
住み慣れた地域で安心して暮らしていることができると
思う高齢者の割合

- 地域団体・市民団体の活動支援
- 地域での支え合いの推進
- 全ての市民の健康づくりの推進
- 在宅医療・介護連携の推進





市民の皆さまとともに 将来にわたって 心豊かに暮らし続けられる 新潟市を目指します

新潟市長 中原 八一

「新潟市総合計画2030」のもとで、新潟市は明るい未来に向かって力強く進んでいきます。

新潟市のまちづくりの理念「活力あふれるまちづくり」、「持続可能なまちづくり」を進めるためには、市民の皆さまのご理解とご協力が欠かせません。

歴史ある素晴らしい新潟市をさらに発展させ、子どもたちへと引き継いでいく。そのためにも「田園の恵みを感じながら 心豊かに暮らせる 日本海拠点都市」を目指して、市民の笑顔があふれる新潟市をぜひ一緒に創っていきましょう！



リサイクル適性 (A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

新潟市総合計画 2030 について詳しくは新潟市ホームページをご覧ください。

